

意見検討結果一覧表

（案名：大規模公共事業再評価についての意見募集
 対象事業：岩崎川広域河川改修事業（紫波町、矢巾町））

番 号	意 見	検討結果（県の考え方）	決定への 反映状況
1	<p>今後の「線状降水帯」の発生により国道4号を超えて広範囲に浸水が発生したケースの場合の対処についても明記してほしい。「想定外」を考えなければ今後の河川改修は全て無意味と考える。</p>	<p>近年、激甚化している豪雨災害の状況を踏まえ、県では、洪水から県民の暮らしを守るため、河川改修などのハード対策と災害関連情報の充実強化などのソフト施策を効果的に組み合わせた防災・減災対策を推進しているところです。</p> <p>当該地区において、ハード対策としては、本事業により30年に1度の確率による降雨で発生すると考えられる洪水（平成25年8月豪雨規模の洪水に相当）を安全に流下させることを目的に河川改修を進めているところです。</p> <p>また、ソフト施策としては、住民の円滑かつ迅速な避難を促すため、水位周知河川や想定最大規模の降雨（※）による洪水浸水想定区域の指定、河川監視カメラや水位計の設置を進めるなど、紫波町、矢巾町と連携を図りながら進めているところです。</p> <p>※ 想定最大規模の降雨は、当該河川の流域に過去に降った雨だけでなく、近隣の河川の流域に降った雨は当該河川の流域でも同様に降ると考え、全国を降雨の特性が似ている15の地域に分割し、それぞれの地域において過去に観測された最大の降雨量によって設定しています。本県では、この地域区分のうち「東北東部」「東北西部」のどちらかを適用して、各河川において想定最大規模降雨が年超過確率1/1000年確率程度の降雨量を上回るように設定しています。</p>	C（趣旨同一）

「決定への反映状況」欄には、次に掲げる区分。

区 分	内 容
A（全部反映）	意見の内容の全部を反映し、計画等の案を修正したもの
B（一部反映）	意見の内容の一部を反映し、計画等の案を修正したもの
C（趣旨同一）	意見と計画等の案の趣旨が同一であると考えられるもの
D（参考）	計画等の案を修正しないが、施策等の実施段階で参考とするもの
E（対応困難）	A・B・Dの対応のいずれも困難であると考えられるもの
F（その他）	その他のもの（計画等の案の内容に関する質問等）